



1. 近世 調査区全景（西から）



2. 作業風景（西から）

● 主な調査成果

近世～近代の大山街道沿いの土地を調査しました。建物跡のピット配置からは、街道（現道とほぼ重なる）と平行する土地区画であったと推定されます。小規模な建物跡（ピット群）と土坑・溝状遺構などが検出されています。

出土遺物は、近世～近代の陶磁器類・鉄製品・銭貨などが発見されています。調査範囲が狭いため、土地利用の実態は不明ですが、街道沿いに民家が立ち並ぶ様子がうかがえます。

また、近世面の下位からは、近隣を流れる鈴川の氾濫原に由来すると考えられる礫層が確認されています。現在の川筋とは大きく異なりますが、中世以前のいずれかの時代に鈴川が大きく蛇行していた痕跡と思われます。

- 調査期間 2022年4月1日～2022年4月30日
- 事業者 中日本高速道路株式会社
- 調査原因 新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、弥生、縄文、旧石器
- 所在地 伊勢原市上粕屋
- 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北西約3.5kmの上粕屋扇状地の台地上

